

日事 知る あの

大阪府知事
橋下徹



◎「大阪まるごと大売出しキャンペーン」キックオフイベント

二月九日(火)

一万円で一万千五百円分の買い物ができる大阪府プレミアム付商品券「ぎょうさん買^ちうたるう！商品券」の販売開始を前に、キャンペーンのイメージキャラクターのくいだおれ太郎さんと一緒にキックオフイベントに参加した。

景気を刺激するためには、お金を動かすことが必要との考えの下、財布に入っているお金をなんとか市場に出してもらおうための策として行うこのキャンペーン。税金を投入する以上、商業者に通常よりも値引



くいだおれ太郎さんと一緒にキックオフイベント

きしてもらおうことを大前提とし、行政が五%、商業者が一〇%負担し、一五%のプレミアムを付けた商品券として七十万冊を販売。同様の取組

みは他の自治体でもやっていると思うが、都道府県単位でやっているところは少ないのではないかと思ってる。

二月十七日から三月十一日までの約一カ月間で消費されれば約八十億円のお金が動くことになる。冷え込んだ大阪の景気が本当に刺激されるのか、このキャンペーンで効果検証したい。

◎「現代アートの世界に輝く新星」展・表彰式

三月十一日(木)

障がい者の方々が創作する創造性豊かな作品を現代アートとして評価



才能豊かな作品が並んだ「現代アートの世界に輝く新星」展

し、展示する「現代アートの世界に輝く新星」展を開催した。
この展覧会では、障がい者の方々が普段何気なく描いた作品を広く募集し、現代美術の専門家に現代アートの観点で審査していただき、選ばれた作品六十八点を展示。

私は、応募作品を審査していただいた国立国際美術館館長の建畠哲氏の説明を受けながら各作品を鑑賞した。デザインはもちろん、描き方など独創的な芸術性あふれる作品ばかりで驚いた。これだけ才能豊かな作品であれば、大阪が世界に誇れるアーティストが誕生するのではない

かと期待している。

表彰式では、優秀賞受賞者など入選者と対面し、作品発表の場の必要性を感じた。大阪にはアーティストの発表の場が少ないので、まずはこの発表の場を作っていきたい。

◎大阪府立たまがわ高等支援学校の視察

三月十二日(金)

「府立たまがわ高等支援学校」を視察した。就労を通じて社会的自立を目指す知的障がいのある生徒が通う高等部単独の支援学校で、「ものづくり科」「福祉・園芸科」「流通サービス科」の三つの専門学科を設置している。今年度の卒業生の就職希望者のうち九割は就職が内定しているという驚くべき数字を達成している学校で、どのような職業教育が行われているのか確認したいと思い、金属加工実習、接客実習、ヘルパー介護実習などを見学した。

実習見学では、生徒と先



ヘルパー介護実習を見学

生が実践しながらに真剣に取り組み姿に感動を覚えた。なにより驚いたのは生徒の元気で気持ちの良いあいさつ。どんな社会でも一番大事なことはあいさつだ。それができる「たまがわ高等支援学校」だからこそ、高い就職率につながっているのだと強く感じた。これは先生方の日ごろの頑張りが大きいのだと思う。大阪の将来を担う子供たちを育む先生方に感謝せずにいられない。

◎大阪サイクルイベント

三月十四日(日)

念願のイベント、大阪サイクルイベントに参加した。二千五百台ものスポーツ自転車や一般自転車などが供用開始直前の高速道路、第二京阪道路を颯爽と走る全国初のイベントで、私は、寝屋川から枚方までの往復約10kmの一般自転車コースを、いわゆる「ママチャリ」で走行した。天気にも恵まれ、生駒山系を眺めながらのサイクリングは本当に気持ち良かったが、たかが10kmと侮っていた。

一応フィットネスでトレーニングしていたものの、長い上り坂では、足がガクガクになり、正直きつかった。このきつそうにペダルをこぐ姿をコース途中で府の広報課職員のビデオカメラに撮られてしまった。おそらく今後の動画配信などで使われることだろう。

このサイクルイベントは、「大阪を元気にしたい」との思いから開催した。当初考えていた「ツール・ド・



勢いよくスタート！

大阪」とまではいかなかったが、参加者の皆さんには、普段できない高速道路を自転車で行くという経験を、十分に楽しんでいただけたのではないかと思う。

今、平成二十三年度の開催に向けて誰もが参加できる「大阪マラソン」を企画している。大阪を元気にし、大阪の魅力を高める取組みをどんどんやっていきたいと思っている。